

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 岡山県立林野高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他（ ）

所在地 〒707-0046  
岡山県美作市三倉田58-1

E-mail hayashino@pref.okayama.jp

Website www.hayasino.okayama-c.ed.jp

児童生徒数 男子 192名      女子 187名      合計 379名  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（持続可能な地域社会）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、「総合的な学習の時間」を My Dream Project (MDP) と名付け、生徒一人一人の自己の在り方生き方を考える思考・実践の全てを包括する活動と捉え、学年の枠を超えた異年齢集団を基盤にして全校で取り組んでいる。

中山間地域に位置する本校では、MDP 活動を通じて、持続可能な地域社会の形成者としての資質を持つ人材育成が重要であると考え、生徒が自分の興味・関心のあるグループに所属し、それぞれが地域の課題解決とグループ目標達成のために活動を行っている。

以下は、平成 27 年度 MDP の主な活動内容である。

(1) 4月3日 MDP 研修会 (教職員)

「総合的な学習の時間」(MDP)の活動説明とともに、「ESD の視点に基づいた MDP 活動到達度自己評価」等についての研修を行い、MDP で養う力とその評価方法について教員間で共通理解を図った。

(2) 4月14日 MDP 研修会 (生徒)

「総合的な学習の時間」(MDP)の活動説明とともに、「ESD の視点に基づいた MDP 活動到達度自己評価」等についての研修を行った。また、「平成 27 年度 MDP 活動ロードマップ」の、「平成 26 年度の成果と課題」を個人で記入し、グループで発表をした後に平成 27 年度の活動目標を考えた。

(3) 6月2日 デアイ場(地域の達人講座)

「デアイ場」とは、地域に出かけて「地域の達人」からお話を伺ったり、本物に触れたりする活動であり、この活動を通して生徒は自分が設定した課題解決のための糸口を見つけていった。

(4) 7月9・10日 MDP 強化日

6月のデアイ場で生徒が獲得した新たな視点や課題解決の糸口を深めるために、各グループが、地域へ出向いたり講演を聞いたりするなどの活動を行った。そして、課題解決のために何を実践していけばよいのかについて考えるヒントを得た。

(5) 9月26日 むかし倉敷ふれあい祭り

「むかし倉敷ふれあい祭り」とは、「総合的な学習の時間」に各グループが取り組んだ課題解決の実践の場として、本校周辺の商店街をお借りし、本校と地域の方が協働して企画・実施しているものである。この祭りの中で、展示を行ったり商品を販売したりしながら、地域の方々との交流を深め、地域活性化に貢献しようとした。

地域の伝統踊りでありながら後継者不足により断絶していた「代官踊り」を昨年、12年ぶりに復活させたが、今回も生徒達が、地域の方々とともに商店街を練り歩き、地域文化の復興にも貢献した。

(6) 12月15日 実践報告会

各グループ各チームで1年間の活動を分析し、成果と課題をポスターセッション形式で発表・全体で共有した。ポスターにはESDとMDPの関係を意識するために研究内容に関係するESDアイコンを貼り付けた。また、活動を通して身に付いた力や態度を分類してアイコンを貼り付けた。この報告会で、生徒たちは他のグループの活動について深く理解し、自分たちの活動と対比させながら、新たな視点を得ることができた。

その他、本校の活動のみではなく、他のユネスコスクールとの交流も行っている。

① 7月25～26日 白石島ESDプログラム

県立矢掛高等学校主催の白石島ESDプログラムへ参加し、白石島でフィールドワーク等を体験することで、持続可能な社会の実現等のテーマについて考えることができた。

② 11月1日 岡山県ユネスコスクール高等学校ネットワーク実践交流会

岡山大学教育学部に県内にある9校のユネスコスクール高等学校が集い、各学校の実践発表やグループワーク等の交流を行った。この交流会で他の学校の実践発表を聞いたり、グループワークで各校の活動について話し合いをしたりすることで、本校の活動における新たな課題について考えることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）